



せたがや区議会だより

No.287

令和4年(2022年)11月19日

発行 世田谷区議会

<https://www.city.setagaya.lg.jp/kugikai/index.html>



〒154-8504 世田谷区世田谷4-21-27 TEL(5432)2779 FAX(5432)3030

障害理解促進と地域共生社会実現をめざす 条例などを可決、令和3年度決算を認定

第3回 定例会

議決内容

議決した案件の概要をご紹介します。今回の定例会には、区長から3年度決算5件を含む39件、議員から4件の案件が提出されました。また、3年度決算を審査するために決算特別委員会を設置しました。提出された議案のうち3年度決算5件を認定し、そのほかの議案は全て可決しました。
※本紙に掲載する条例名は略称を使用しています。

●3年度各会計決算の認定 5件

○一般会計

賛成多数 賛成 賛成 賛成 賛成
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数

○国民健康保険事業会計

賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数

○後期高齢者医療会計

賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数

○介護保険事業会計

賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数

○学校給食費会計

賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数

○一般会計(第三次)

○一般会計(第四次)

○国民健康保険事業会計(第一次)

賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数

○後期高齢者医療会計(第一次)

賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数



世田谷区制施行90周年記念式典の様子

○介護保険事業会計(第二次)

賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数

○学校給食費会計(第二次)

賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数

○一般会計(第三次)

賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数

○一般会計(第四次)

○国民健康保険事業会計(第一次)

賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数

○後期高齢者医療会計(第一次)

賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数

○地域行政推進条例

賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数

○条例の改正 20件

賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数

○職員の定年条例

賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数

○職員退職手当条例

賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数

○職員給与条例

賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数

○職員の定年条例

賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数

○職員退職手当条例

賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数

○幼稚園教育職員給与条例

賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数

○職員の勤務時間、休日、休暇条例

賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数

○職員の勤務時間、休日、休暇条例

賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数

○職員の勤務時間、休日、休暇条例

賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数

○職員の勤務時間、休日、休暇条例

賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数

○職員の勤務時間、休日、休暇条例

賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数

○職員の勤務時間、休日、休暇条例

賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数

○職員の勤務時間、休日、休暇条例

賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数

○職員の勤務時間、休日、休暇条例

賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数

○職員の勤務時間、休日、休暇条例

賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数

○職員の勤務時間、休日、休暇条例

賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数

○職員の勤務時間、休日、休暇条例

賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数

○職員の勤務時間、休日、休暇条例

○職員懲戒条例

賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数

○職員懲戒条例

賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数

○職員懲戒条例

賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数

○職員懲戒条例

賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数

○職員懲戒条例

賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数

○職員懲戒条例

賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数

○職員懲戒条例

賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数

○職員懲戒条例

賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数

○職員懲戒条例

賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数

○職員懲戒条例

賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数

○職員懲戒条例

賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数

○職員懲戒条例

賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数

○職員懲戒条例

会派名等

自民 自由民主党世田谷区議団
公明 公明党世田谷区議団
立憲 立憲民主党世田谷区議団
F行革 F行革無所属・世田谷区議団
共産 日本共産党世田谷区議団
生ネ 生活者ネットワーク世田谷区議団
新風 新風・せたがやの風
減税 減税せたがや
虹 レインボー世田谷
世田谷 世田谷無所属
あした 世田谷あした
都ファ 都民ファーストの会
国際 国際都市せたがや
区守会 区民を守る会
無所属 無所属

公職選挙法の規定により、議員の寄附行為や時限のあいさつ状況などは禁止されています。

〈8ページへ続く〉

代 表 質 問

9月20日の本会議で、4名の議員がそれぞれの会派を代表して質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。



自由民主党世田谷区議員
阿久津 皇



具体的な少子化対策の展開

質問 出生率向上に向け、子ども子育て応援都市にふさわしい具体的な施策を打ち出すべきだ。出産一時金の上乗せ給付拡大や子育て利用券の大幅増額などに取り組め。

区長 財源の問題などを含めて検討し、しかるべき時期に判断する。

リカレント教育の推進

質問 働き方が多様化する今、スキル取得のための学び直し「リカレント教育」の重要性が増している。大学との連携や創業支援機能の活用など教育の場を拡充せよ。

経済産業部長 開設予定の旧池尻中跡地が拠点となることを目指す。駅周辺まちづくりの積極的な推進

質問 駅周辺再開発は持続可能なまちを築く好機である。区は周辺住民や地権者などと合意形成を図りながら地域の将来を見据えたまちづくりを積極的に推進せよ。

技監 まちづくりへの機運醸成を図り、地域と連携しながら進める。

開かずの踏切の早期解消

質問 区内に依然として多く残っている開かずの踏切の解消が急務だ。とりわけ大井町線と東横線の連続立体化に向け、目黒区と協調し都や鉄道事業者との交渉に臨め。

副区長 大井町線を含め開かずの踏切解消への調査検討を進める。

みどり率上昇に向けた取組の加速

質問 みどり率を向上するにはオール世田谷で臨むことが肝要だ。みどりのトラスト基金やふるさと納税制度を積極的に活用し、区民や団体と連携した取組を加速せよ。

みどり33推進部長 より実効性の高い新たな施策の展開を検討していく。

区の投資による企業支援

質問 都では民間の投資ファンドへの出資を通じ、中小企業に金融支援を行っている。企業の成長や産業活性化につながる有効な手法であるため区も導入を検討せよ。

経済産業部長

地域産業活性化への手法の一つとして検討したい。

資材高騰に伴う事業者支援

質問 区の資材高騰対策である工事契約金額の変更手続が煩雑なあまり、事業者は申請を諦めがちだ。区は価格が急騰している品目の手続を簡略化するなど改善を急げ。

財務部長 事業者の負担に配慮し、一層丁寧な説明や相談に努める。

区内建設産業の積極的な振興

質問 区内建設事業者から、本庁舎整備の施工者が発注する一部業種の工事は採算性がなく受注しづらいと聞く。建設業振興を掲げる区は早期の改善を施工者に促せ。

庁舎整備担当部長 幅広い建設事業者の参加に向け施工者に働きかける。

若者の地域参加の仕組みづくり

質問 持続可能な地域の確立には若者の地域参加が不可欠だ。子ども頃からまちの行事への参加を促すとともに学校と地域が一体で子どもを育てる環境を構築せよ。

教育長 地域の方と連携し積極的に地域参加できる環境を整備する。

環境施策推進に向けた資金の確保

質問 環境施策の着実な推進には多額の経費を要する。ふるさと納税の活用や環境問題解決などに向け資金を募る「ESG債」の発行など、資金調達手法を多様化せよ。

環境政策部長 財政所管と協議を進め、更なる資金調達を検討する。

時代に合わせた高齢者施策の推進

質問 デジタル機器を駆使できる高齢者が増える中、従来の高齢者観にとられない施策が必要だ。SNSを活用し若者との交流を創出するなど柔軟な発想で取り組め。

高齢福祉部長 柔軟な発想で自立支援に資する施策を検討していく。

地域行政推進条例の制定意義

質問 我が会派は、区が条例制定を機に地域住民を行政の意思決定に直接参画させるつもりでいるなら、地区に分断を生みかねないため反対だ。区長の認識を示せ。

区長 条例では民意を区政に反映する仕組みの強化を規定している。



公明党世田谷区議員
福田 たえ美



学校給食費の完全無償化の実現

質問 家計急変世帯や昨今の物価高騰に対応するため、教育費における保護者負担の軽減が急務だ。所得制限を撤廃した給食費の完全無償化を5年度から実施せよ。

区長 財源問題などを熟慮し、なるべく早いタイミングで判断する。

オンライン診療の環境整備

質問 今回のコロナ第7波で区が導入したオンライン診療は、発熱外来の逼迫緩和につながった。再度の感染拡大に備え、平時から対応可能な医院の拡充に取り組め。

保健福祉政策部長 人材確保や設備負担について医療機関と検討する。

物価高騰に対する現金給付の実施

質問 今般の物価高騰は全所得階層に深刻な影響を与えている。物価高騰に苦しむ区民を守るため、国の地方創生臨時交付金を活用し、区独自に一律の現金給付を行え。

区長 必要な施策について、時期を逸することなく判断し対応する。

間断なき地域行政改革の推進

質問 地区での行政サービスを一層拡充すべきだ。区民満足度などの指標を基にまちづくりセンターや支所を不断に改革し、区民のための地域行政制度を構築せよ。

副区長 地区の方々に取組の効果を実感いただけるよう取り組む。

重点事業への職員の適正配置

質問 多様化する社会課題の解決に向け、一層の行政改革が急務だ。全事業の評価を専門に行う部署を創設し、重点事業に職員を適正配置するための計画を策定せよ。

副区長 様々な視点で事業評価を行い、人材の適正配置に努める。

公有地を有効活用した施設整備

質問 旧都立玉川高校跡地は、多様な区民ニーズや収益確保の観点から活用方法を検討すべきだ。高齢者の健康増進施設や児童館を含む多世代交流施設として整備せよ。

政策経営部長

全区的な公共利用の観点で検討を行い都に要望する。有事に備えた公共施設の整備

世界情勢が緊迫する中、ミサイル攻撃などに対する備えが不十分だ。区民の安全を守るため公共施設のシエルター化を推進せよ。

危機管理部長 都と連携し緊急一時避難施設の指定拡大に取り組む。

健康増進に向けた区民意識の向上

質問 健康寿命の延伸には、介護予防の意識向上が重要だ。介護サービスを利用せず健康維持に努めている方に向け区独自のキャッシュバック制度を創設せよ。

高齢福祉部長 高齢者が健康意識を保てる予防事業の充実に努める。

食のネットワーク拠点の拡充

質問 子ども食堂などの支援を持続可能なものとする仕組みが必要だ。フードドライブで寄附された食品を保管し配送するロジ・ハブ拠点を既存公共施設内に整備せよ。

保健福祉政策部長 持続的な運営に向け社会福祉協議会と検討を進める。

本文中で使用している省略表記

- 支所 〓 総合支所
- フェアスタート事業 〓 セタがや若者フェア
- 東京2020大会 〓 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会



世田谷立憲民主党区議員

中塚 さちよ



区民生活を底上げする対策の強化

質問 物価高騰と社会保障費の負担が重なる今、区民生活を底上げする対策が必要だ。都の最低賃金の引上げを機に区も公契約条例による労働報酬下限額を引き上げよ。

財務部長 地域への波及効果も見据え、財政状況も考慮し判断する。

カルト宗教被害者への対応力向上

質問 信者の洗脳や献金の強要を行うカルト宗教から区民の人権を守る取組が必要だ。区民からの相談を幅広く窓口で受けられるよう職員の対応力向上に力を注げ。

総務部長 各所管に相談スキルの向上などに取り組むよう周知する。

地域行政推進条例がもたらす利点

質問 区は今定例会に地域における行政サービスとまちづくりを一層拡充する条例を提案した。区民生活にどう役立つのかを明示せよ。

副区長 地区防災力の向上や窓口サービスの拡充などに取り組む。

学校給食費の完全無償化の決断

質問 葛飾区は23区初となる学校給食費完全無償化の方針を示した。無償化の機運が高まる今こそ、区長は5年度からの実施を決断せよ。

区長 財源の問題を整理し、なるべく早く実施の可否を判断する。

介護事業所への業務継続支援

質問 コロナ禍で介護事業所は通所や訪問介護の中止を余儀なくされた。介護が必要な方々の生活を守るため、事業者が国や都の制度の活用を促し業務継続を支援せよ。

高齢福祉部長 補助制度などが活用されるよう周知と説明に努める。

区の将来を見据えた公共交通整備

質問 脱炭素社会や共生社会の実現に向けて地域公共交通が果たす役割は大きい。区民と事業者の協働による交通政策の推進に向け、区が目指す将来像を明確に示せ。

副区長 目指すべき姿などを区民に分かりやすく示していく。



無所属世田谷区議員10番 継新
大庭 正明



学校給食無償化を行革で実行せよ

質問 学校給食費の完全無償化を実現するには約20億円必要であり、財源確保に向けた行財政改革が不可欠だ。改革が一向に進まない保坂区政下で、どう成し遂げるのか。

副区長 財源確保策を追求し議会の意見も踏まえ区長の判断を仰ぐ。

DXによる行政手続充実の進め方

質問 地域行政推進条例ではDXによる区民の利便性向上を基本方針に掲げた。役所内のICT環境がお粗末極まりない中で地域行政部はどう進めるつもりなのか。

地域行政部長 まちづくりセンターの通信環境整備などに取り組む。

地域行政推進条例への懸念

質問 区内の行政区域割は住民の流動性や生活実態を十分に考慮していない。これを見直さず地域行政推進条例の制定を進めれば、区民の混乱を招くのではないか。

地域行政部長 活動の蓄積がある従来の地区割で地域づくりを行う。

地域行政推進計画への疑義

質問 地域行政推進計画ではまちづくり支援職員である管理職の力を地区の課題解決に生かす方針だ。年数回イベントを手伝うだけの管理職の支援で何か変わるのか。

地域行政部長 支援職員制度を改善し、課題解決力を強化していく。

DX推進に向けた職員の意識改革

質問 区のDX推進を阻害する要因として職員の業務改善意識の低さが挙げられる。着実な推進に向け、まず職員の意識を改革せよ。

副区長 失敗を恐れずトライする組織づくりに向けて取り組む。

DX推進に向けた都との連携強化

質問 決断力のない区長の下では区単独でDXを進めることは困難だ。都が設立予定のDX推進を牽引する団体との連携を検討せよ。

副区長 これまでの研究や調査をもとに都と連携しDXを進める。

9月21日及び22日の本会議では、31名の議員が区政をめぐる諸課題について質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。



中村 公太郎
(立憲)



総合評価方式による落札実績

質問 区が4年度に導入した総合評価方式は従来と比べ高額な価格でも落札しやすく財政負担が増す懸念がある。最低価格以外で落札された入札件数と差額を示せ。

答弁 8月末までに5件で最低価格との差額合計は約200万円である。**せたがやペイの機能拡充**

質問 せたがやペイが継続して利用されるためには、加盟店のメニューを高めることが不可欠だ。加盟店が利用者の消費傾向などをデータ分析できる新機能を追加せよ。

答弁 商店街振興組合連合会と協力し必要な機能拡充を検討する。**LINE活用による広聴機能強化**

質問 個人を対象に情報を伝えられるLINEを区民サービスに最大限生かすべきだ。一方的な情報発信だけでなく、区民からの問合せを受け付ける仕組みを構築せよ。



神尾 りさ
(国際)



脱炭素社会実現に向けた施策展開

質問 国はCO2排出量実質ゼロに向け脱炭素先行地域を募集している。区民の意識醸成や区の実施施策を加速化するため、要件に合う地域を選定し早急に応募を検討せよ。

答弁 具体的なエリアや課題の設定などについて前向きに検討する。**8050問題解決に向けたシステム構築**

質問 80代の親が50代の子の生活を支える8050問題への支援には高齢や若者、障害など多部門での連携が不可欠だ。医師会の取組を参考に、情報共有の仕組みを検討せよ。

答弁 課題を整理しながら医師会の取組などを参考に検討していく。**ボランティアによる外国人支援**

質問 多文化共生の推進に向け在住外国人への生活支援を充実すべきだ。他国文化に関心があ

り、語学の堪能なボランティアとの協力体制について検討する。



田中 みち子
(生ネ)



合理的配慮が施されたまちづくり

質問 障害があっても暮らしやすいまちづくりを一層推進すべきだ。商店での段差解消スロープや点字メニュー導入への助成制度の復活、協力店舗の区民周知に注力せよ。

答弁 助成事業の再開や障害当事者への情報提供などを検討する。**区所有の空き地の農的活用**

質問 食料自給率への関心の高まりに応えるため、我が会派は公有地の農的活用を提案してきた。食と農がつながる都市「エディブルシティ」実現への区の取組を示せ。

答弁 官民連携による事業「タマリバタケ」を実証的に開始した。**自己決定権を尊重した性教育**

質問 学校での性教育にははじめて規定があり性に関する科学的知見に基づく知識と身を守るすべを学ぶ機会がない。性教育の遅れという社会問題に区を挙げて取り組みを重し合う社会の構築に取り組む。



くら 博之
(区民会)



NHK受信料の消滅時効の援用

質問 未払の期間が5年以上経過したNHK受信料は、契約者からNHKに消滅時効の援用を申し出る通知書を提出することで支払の義務がなくなる可能性がある。区は支払ができずに悩む区民から時効の援用に関する相談があった場合、どのように対応しているのか。

答弁 速やかに区の弁護士相談や弁護士会が設置している「法律相談センター」などを案内している。**行政対象暴力に係る心のケア**

質問 反社会的勢力などが行政に対し暴力や威迫する言動を用いて不当な要求をする行政対象暴力は、

多くの人が利用する区役所の窓口においても起こり得る。対応に当たる職員の精神的な負担は非常に大きいと考えるが区は職員の心のケアをどのように行っているのか。



河野 俊弘
(自民)



eスポーツの積極的な推進

質問 eスポーツは単に楽しむためのゲームではなく健康増進や産業振興にも有効だ。eスポーツをスポーツ競技の一つと明確に位置づけ、庁内横断的な取組を進めよ。

答弁 国などの例を参考にeスポーツの有効な活用方法を検討する。**災害時のデジタルバйд対策**

質問 デジタルに不慣れな方へ配慮した災害対策の推進が急務だ。区は通信事業者と連携し災害時に家庭テレビを自動起動させ緊急情報を表示するシステムを整備せよ。

答弁 提案の手法も含め、新たな情報発信について可能性を探る。**喫煙所の維持管理への支援**

質問 電子たばこの普及によるごみの増加やコロナ対策用消毒液の設置など、民間の指定喫煙所の運営経費が増加している。設置費に加え維持管理費も早急に補助せよ。

答弁 区の特性に合う有効な支援策の早期実現に向け検討を進める。



青空 こうじ
(無所属)

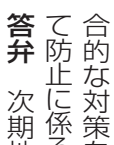


保護司の成り手不足の解消

質問 保護司は犯罪や非行をした人の更生を地域で支える重要な存在だが、成り手不足が深刻だ。退職した区職員に就任を呼びかけるなど安定的な人材確保に注力せよ。

答弁 退職する区職員に向けて周知チラシの配布などを行っていく。**犯罪歴のある人への更生支援**

就労先として受け入れる協力雇用主の確保に向け積極的に取り組め。



宋戸 三郎
(自民)



再犯防止推進への総合的な対策

質問 再犯防止に向けた就労支援や住まいの確保など、地域福祉を担う区の役割は多岐にわたる。総合的な対策を講じるため、区として防止に係る推進計画をまとめよ。

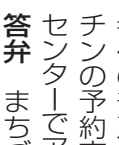
答弁 次期地域保健医療福祉総合計画の策定に合わせ検討していく。**良好な教育環境を維持する対策**

質問 猛暑が続いた今夏、多くの学校で空調設備の不具合により冷房が効かず、児童生徒は過酷な状況を強いられた。良好な教育環境を第一に考え、対策を強化せよ。

答弁 良好な学校環境の維持保全に危機感を持って全力で取り組む。**買い物弱者支援の本格的な検討**

質問 高齢者などの買い物弱者は確実に増加しており対策が急務だ。移動販売サービスや買物代行サービスをはじめとする支援事業の需要調査を全庁を挙げて取り組め。

答弁 細かな需要などを確認し、新たな支援の方策を検討していく。**高齢者へのせたがやペイの普及**



菅沼 つとむ
(自民)



三茶しやれなどホール機能向上

質問 区は改築後の昭和信用金庫三軒茶屋支店に20年契約で区民会館別館を移す計画だ。巨費を投じて音響を良くすると聞くが本格的なコンサート開催は可能なのか。

答弁 音響などこれまで以上のホール機能を備えるよう設計する。

誘致する民間児童の公募の在り方



金井 えり子
(生ネ)



誘致する民間児童の公募の在り方

質問 区が誘致する民間児童の運営者公募は学童クラブの運営実績のある者しか応募できず不公平だ。なぜ子育ての専門家である保育園や幼稚園を公募から除外するのか。

答弁 保育実績では支援の質が確保可能かの判断が困難と考える。**旧池尻中跡地活用事業の成果指標**

質問 旧池尻中跡地活用では、起業家数やビジネスマッチング数などに成果指標を設ける。達成率が低調な場合、運営事業者に改善要求や契約解除を行う認識でよいか。

答弁 改善要求した上で改善見込がない場合は契約解除勧告を行う。**実用的な個別避難計画の作成**

質問 障害のある方から防災の情報不足していると聞く。区と障害当事者と地域の支援者が実施訓練などを行い紙面上だけでない実用的な個別避難計画を作成せよ。

答弁 地域の実態に即した計画を作成し着実な避難行動につなげる。**ペットと暮らす高齢者への支援**

質問 高齢であってもご本人が飼い主として責任を持つてペットの行く末までを定めることが重要だ。他自治体の例を参考に区も飼い主の思いを尊重した支援に取り組め。

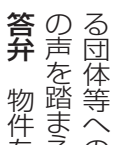
答弁 入院が必要になった際の一時の預け先など事前準備を促す。**子どもの権利への理解促進**

質問 子ども条例の制定から20年以上たつが、いまだ子どもの権利への理解が区民に浸透していない。地域で子どもを見守るため、区は全庁を挙げて普及啓発に注力せよ。

答弁 子どもの権利の普及啓発など、施策展開に向け議論している。**スタンドパイプの配備拡大**

質問 地域の防火体制を強化するには初期消火に資するスタンドパイプを町会や商店街に配備するこ

とが有効だ。区は設置場所の確保や住民向けの操作訓練に取り組め。



そのべ せいや
(都ファ)



開かずの踏切解消への連携強化

質問 自由が丘駅周辺では連立事業の検討が本格化している。この機を捉え隣接する目黒区と一層連携し、区内を走る大井町線と東横線の開かずの踏切解消に取り組め。

答弁 目黒区や関係機関とこれまで以上に連携し調査や検討を行う。**出産一時金の不足分を補填せよ**

質問 区内産院の出産費用は都平均62万を優に上回り、出産一時金42万に都の10万円現物給付を含めても到底足りない。第二子6万円助成を見直し第一子から助成せよ。

答弁 国の動向や財源の問題を踏まえ、必要な制度改正などを行う。**都による子育て家庭支援の活用**

質問 1〜2歳児の家庭へ1万円を給付する都のバースデーサポート事業をフル活用し、転入者に限る現状を改め、世田谷生まれの子どもを対象外とする運用を見直せ。

答弁 関連する施策の調整を図り、更なる活用に向けて検討を進める。**子どもが排除されない環境づくり**

質問 子連れやベビーカーで公共交通を利用すると他の乗客から文句を言われ、時には危害を加えられる。子ども・子連れも普通に利用できる環境を事業者と整備せよ。

答弁 公共交通機関への理解促進に向け関係所管が連携して進める。



藤井 まな
(立憲)



避難行動要支援者の援助者の確保

質問 区と協定を結んでいない町会自治会は、区から避難行動要支援者名簿が提供されないため、要支援者への援助者確保が難しい。区はどうか対策を講じていくのか。

答弁 防災訓練などで現状を伝え、潜在的な支援の担い手を発掘する。

部活動の地域移行に係る人材確保

質問 国は公立中における休日の部活動の指導を地域団体に委ねる方針を示した。指導員確保に向け、企業や大学、プロチームと協定を結び、協力を仰げる体制を築け。

答弁 より良い部活の地域移行に向け課題を幅広く議論し検討する。

インボイス制度への理解促進

質問 個人事業主に実質的な増税を迫るインボイス制度の開始を5年10月に控える今、区内事業者の理解は進んでいない。事態を深刻に捉え、制度周知を一層強化せよ。

答弁 区内事業者の理解度を把握し制度の理解が高まるよう努める。



上川 あや
(虹)



地域行政条例の「広聴」に疑問符

質問 地域行政推進条例の「広報広聴機能の充実」は区民意見等を区がどう記録し回答し庁内共有し、公開、保存するかのルールが未規定。単なるガス抜きにならないか。

答弁 窓口でのモデル実施などを踏まえ、必要なルールを整備する。

行政手続条例と新条例との整合性

質問 地域行政推進条例は、今後28か所のまちづくりセンターで多様な手続きに応じるとするが、行政手続条例が課す審査基準の公開は細部にわたる。実現できるのか。

答弁 窓口で丁寧な情報提供と説明が行えるよう具体的に検討する。

当区らしい要配慮個人情報設定

質問 改正個人情報保護法で自治体の個人情報保護も、国ルールに一本化されるが「条例要配慮個人



あべ りき
(減税)



攻めの子育て施策の実施を！

質問 明石市は所得制限の無い給食費・子ども医療費無償化などの子育て支援の充実で人口増、税収増の好循環を生み出している。区も攻めの子育て施策を展開せよ。

答弁 世田谷らしい攻めの支援策により出生数増などにつなげたい。

医療的ケア者への支援拡充を！

質問 区は災害時の備えとして医療的ケアが必要な方へポータブル電源を無償で配布したが、対象を子どもに限定した。命を守るため、年齢に制限を設けず配布せよ。

答弁 今後は18歳以上の医療的ケア者にも配布できるよう検討する。

学校給食費無償化を実現せよ！

質問 学校給食費の無償化は全国で広がっており、区も今こそ実施に踏み切るべきだ。財源の確保が難しければ、まずは中学校からの段階的な実施を区長は決断せよ。

答弁 財源の持続可能性を考慮し、議会や区民の意見も踏まえ決める。



中山 みずほ
(立憲)



部活動支援員の報酬の増額

質問 区の部活動支援員の報酬は、他自治体と比べ大変低く指導員の確保が難航する例もある。今後の部活動の地域移行を見据え安定的に運営できるよう早急に増額せよ。

答弁 指導者などを確実に配置するため適正な報酬金額を検討する。

オンラインを活用した不登校支援

質問 増加する不登校の子どもの学びを保障するためICTを効果的に活用した支援を展開すべきだ。区が試行的に始めたオンラインでの伴走型の学習支援を事業化せよ。

答弁 学習支援としての有用性を精査し事業化の可能性を検討する。

まちづくりセンターでの人材育成

質問 まちづくりセンターの機能強化には区民参加を促進するための企画立案力を持つ職員が求められる。民間の専門人材の活用も視野に、職員の人材育成に力を注げ。



中里 光夫
(共産)



区長は国葬に反対を表明せよ

質問 国は安倍元首相の国葬を強行する姿勢だが、個人を特別扱いし国民に弔意を強いることは憲法に反する行為だ。区長は国葬について反対の意を明確に表明せよ。

答弁 私自身としては違和感を隠せないとして申し上げておく。

区立保育園統廃合計画見直しを

質問 地域の子育て支援の力を後退させる区立保育園の統廃合計画に反対だ。区立保育園は地域の子育て支援の核として、今後の子ども政策の考え方」に位置付けよ。

答弁 全ての子どもの安全と健やかな育ちを保障する取組を進める。

英語スピーキングテストの中止を

質問 5年度の都立高入試から英語スピーキングテストの結果が活用される予定だが、評価判定に公正性を欠いている。保護者の不安の声も踏まえ、都に中止を求めよ。

答弁 学校関係者からの意見などを都教育委員会に伝えていく。



ひうち ゆい
(世田谷)



多摩川河川敷のランコース整備

質問 コロナ禍の運動不足解消にランニングをする人が増える中、多摩川河川敷が砂利道で走りづらいとの声を聞く。道の舗装など快適なランニングコースを整備せよ。

答弁 設置管理している国へ引き続き利用者の要望を伝えていく。

特別支援教室への支援拡充

質問 区の特別支援教室すまいるルームを利用する子どもは年々増えており、教員の負担軽減や指導

の質確保に向けた支援が必要だ。

質問 区はどのように対応していくのか。

答弁 非常勤講師の配置や特別支援教育の理解を深める研修を行う。

未就園児を育てる家庭への支援

質問 保育園や幼稚園に通っていない未就園児を育てる家庭は必要な支援が届きにくい。孤立しやすく虐待につながるおそれもある。区として独自の支援策を講じよ。



江口 じゅん子
(共産)



物価高騰から暮らしを守る給付金を

質問 経済的困窮から冷房が無い、使用控えの実態があり、今夏の当区の屋内熱中症死亡者数は16名にもなった。困窮する区民生活を支える低所得者への区独自給付金を。

答弁 区民生活を守るために必要な施策について判断し対応を図る。

障害者グループホームの整備促進

質問 親亡き後安心して生活できるグループホームが不足している。精神障害者の滞在型グループホームは通過型と比べ補助が少なく、整備促進の為に独自補助を行え。

答弁 国や都の制度改正や他自治体の状況を把握し支援を検討する。

介護人材確保に向けた取組の強化

質問 深刻な介護人材不足で事業者は現場の実態に即した職員確保、定着の支援強化を求めている。介護職として働き続けられる処遇改善や人材確保策を積極的に講じよ。

答弁 魅力向上に資する取組や採用活動経費助成の充実を検討する。



石川 ナオミ
(自民)



リカレント教育による人材発掘

質問 区内に11万人いると想定される潜在的な労働人材の掘り起こしが課題だ。仕事で生かせる知識や技能の習得を目指すリカレント教育の活用により就業につなげよ。

答弁 潜在労働力層のニーズを捉え、人材マッチングにつなげる。

学校給食へのエコ農産物の活用

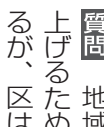
質問 都は化学合成農薬などを使わずに作られる農産物をエコ農産物として認定している。環境負荷の低減や食育の観点から、区として学校給食に積極的に取り入れよ。

答弁 まずは有機米の使用に向け、予算措置を含め対応策を検討する。

区施設への点字ブロックの整備

質問 多くの区民が訪れる希望丘青少年交流センターでは点字ブロックの敷設が不十分だ。最寄りのバス停から施設へ視覚障害者を安全に誘導できるよう整備を進めよ。

答弁 安全性を含め設置可能と確認できたため、速やかに設置する。



たかしょう 訓子
(共産)



住民自治の充実に向けた条例制定

質問 地域行政は住民自治の実を上げるために導入された制度であるが、区はその条例化に際して目的を示す条文から住民自治に係る規定を削った。改めて明記せよ。

答弁 区民参加による住民自治を尊重した区政運営の充実を図る。

補聴器購入に係る支援拡充

質問 23区中17区では補聴器の購入費助成や補聴器の現物支給を行っている。区でも難聴の高齢者などの生活を守るため、他区の例を参考に5年度から支援策を講じよ。

答弁 高齢者のニーズを踏まえ、現物支給も含めて検討していく。

給食費完全無償化に向けた方策

質問 我々は義務教育は完全無償化すべきと主張してきた。給食の無償化の実施に際し、財源確保の問題に加え、不登校児童生徒への給食・支援などの対応も検討せよ。

答弁 無償化により生じる課題を洗い出し、必要な対策を検討する。



小泉 たま子
(新風)



意見を取り入れない区の姿勢

質問 地域行政推進条例案には区の在るべき姿がなく、区側の思いつきを一方的に並べているだけだ。

議会や現場の職員、区民どのように向き合い意見を反映したのか。

答弁 議会の議論や車座集会などの意見反映、庁内検討を重ねた。

区民意見の反映の在り方

質問 地域行政推進条例案へのパブリックコメント約300件のうち条文へ反映されたのは僅か2、3箇所と聞く。区に都合の良い意見のみを取り上げた結果ではないのか。

答弁 条例前文の表現を修正するなど各所に意見を反映している。

制定までのスケジュールへの疑義

質問 区はパブリックコメントの結果を予定の10月を待たずに公開するなど、一方的に条例制定を進めた。こうした態度は区自らが掲げる参加と協働に反しないのか。



いたい ひとし
(公明)



区立小への教科担任制の早期導入

質問 教科担任制は専門性の高い教育や教員の働き方改革に資する有効な指導法だ。区は学習が高度化する小学校高学年での早期実施に向け専科指導教員の増員を図れ。

答弁 専科指導教員の配置充実を図るよう国や都に働きかけていく。

生態系を守る活動への支援充実

質問 特定外来生物のアレチウリによる悪影響が確認されている。生物多様性の保全に必要な情報を区民に提供するとともに駆除活動を行う団体への支援を充実せよ。

答弁 駆除に関する技術的な情報提供など様々な支援策を検討する。

訪問理美容サービスの対象拡充

質問 寝たきりで外出困難な方に対する区の訪問理美容サービス事業はデイサービス先での利用を対象外としている。当事者のニーズを踏まえ利用できるよう見直せ。

答弁 デイサービス先でも利用できるよう早期に改善していきたい。



問 質 一 般



真鍋 よしゆき
(自 民)



窓口機能拡充への区長の見解

質問 区民意識調査によると約6割の区民が身近なまちづくりセンターに出張所と同様の行政手続ができる窓口機能を求めている。区長はなぜこの声に応えないのか。

答弁 できるだけ早期に区民への利便性が向上するよう取り組む。

本庁舎整備での仮庁舎移転の経緯

質問 区は本庁舎整備において工区ごとに順次建て替えるため、仮設庁舎への移転は不要だと説明してきた。なぜ一転して都市整備領域を旧玉川高校へ移転させたのか。

答弁 借受けが可能となり移転したことで工期の短縮につながった。

開かずの踏切解消への見通し

質問 京王線連立事業では、約84%の沿線用地の取得が進み、いよいよ開かずの踏切解消に向けた工事の本格化が期待される。区はいつまでの解消を目指していくのか。

答弁 都や関係機関と情報共有を図り、事業期間内の完成を目指す。



桜井 純子
(立 憲)



障害者の権利救済の仕組みづくり

質問 障害理解促進に係る条例には差別などの人権侵害から被害者を救済する仕組みが規定されていない。区は障害者権利の保障に向け、今後どのように取り組むのか。

答弁 当事者や家族会からの意見を基に権利救済について検討する。

インクルーシブ教育の推進

質問 区は国連障害者権利委員会の勧告を受け止め、インクルーシブ教育の推進をするべきだ。ガイドラインの策定には、当事者や保護者、有識者の参加を求める。

答弁 有識者の活用や子ども、保護者への意見聴取などを検討する。

就学相談が果たすべき役割

質問 就学相談は、障害を理由に子どもを分けることを目的とせず、地域の学校に通うための合理的配

慮等の相談の場とすることでインクルーシブ教育の推進に努めよ。

答弁 職員の理解促進に努め、丁寧かつ親身になって相談に応じる。



佐藤 美樹
(あらた)



職員の業務効率向上に資するDX

質問 職員の業務効率性を高めるDXを推進すべきだ。新庁舎で導入するモバイル端末を活用し、場所や時間に捉われない働き方のモデルをDX推進担当で打ち出せ。

答弁 検証範囲を広げながら新たな働き方創出への取組を加速する。

おでかけひろば機能の拡充策

質問 子育て世帯の孤立防止の観点から身近なおでかけひろばが果たす役割は大きい。ひろばの機能拡充の際は児童館ともノウハウを共有できるように双方の連携を強めよ。

答弁 おでかけひろばとの連携を強め、孤立防止や不安解消を図る。

個人でできるグリーンインフラ

質問 自宅の駐車スペースに雨水の流出を抑える緑化ブロックを取り入れるなど、個人でできるグリーンインフラ整備を促進すべきだ。

答弁 区は整備に係る助成制度を設けよ。

みどりを広げる取組とも連携し既存の助成制度のPRを図る。



高橋 昭彦
(公 明)



認知症当事者同士の交流推進

質問 認知症とともに生きる希望計画で掲げる認知症当事者による社会参加を一層推進すべきだ。当事者同士での交流を通じ、思いを共有できる仕組みを構築せよ。

答弁 認知症当事者が集い発信できる仕組みづくりを検討していく。

飼育放棄や多頭飼育崩壊への対策

質問 飼い主の高齢化によるペットの飼育放棄や多頭飼育崩壊が問題化している。人と動物の共生推進に係る計画の改定に合わせ、福祉所管と連携した予防策を講じよ。

答弁 予防策として地域と動物をつなぐ制度について議論している。

環八交差点のバリアフリー化推進

質問 我が党は環八千歳台及び船橋交差点への横断歩道やエレベーターの設置を長年求めてきたが、一向に進展がない。区は双方とも最優先課題と捉え本気で取り組め。

答弁 千歳台を着実に進め、船橋についても関係機関に働きかける。



つるみ けんじ
(新 風)



高齢者の生活実態に即した支援

質問 コロナ禍での高齢者の孤立や虚弱化に効果的な対策を講じるには、事実や根拠に基づく政策立案が重要だ。高齢者の生活の変化や実態に即した支援策を展開せよ。

答弁 介護予防教室の実施拠点や通いの場の充実について検討する。

高齢者の居場所づくりの地区展開

質問 区はさきの議会で高齢者がくつろげる居場所づくりの地区展開を目指すと言ったが、限られた財源の中で実施するには相当の創意工夫を要する。区の方策を示せ。

答弁 4年度中に利用者アンケートを実施し、具体の検討を進める。

子どもが楽しく通える学校づくり

質問 区は不登校の子どもの増加を踏まえ改めて全ての子どもが楽しく通える学校づくりの視点に立ち返るべきだ。実態を的確に把握し子どもが求める施策を構築せよ。

答弁 実態を調査し分析した結果を魅力ある学校づくりにつなげる。



高岡 じゅんや
(生 ネ)



ごみ問題を考える機会の拡大

質問 プラスチックの資源循環などを議論する清掃・リサイクル審議会に区民が参加することはごみ問題への関心を高める契機となる。傍聴機会が増えるよう工夫せよ。

答弁 ホームページで日程を早期に周知するなど機会拡大に努める。

区の情報セキュリティ対策強化

質問 区は庁内事務用システムをインターネット環境とつなぐ方針であり、セキュリティ面のリス

クが懸念される。区民の個人情報保護を第一に万全の対策を講じよ。

答弁 新たな技術的対策を講じるとともに人的対策も継続していく。

誰もが安全に歩けるまちの整備

質問 誰もが安全で利用しやすい歩行環境を確保することが重要だ。区は障害当事者などの声を聞き、重大事故につながる危険性が高い場所から優先的に整備を進めよ。

答弁 障害当事者などの意見を踏まえ、整備の方針をまとめていく。



いそだ くみ
(立 憲)



小学生の体力向上策の強化

質問 子どもの体力低下は顕著であり対策強化が急務だ。第二校庭を確保したり、体力向上特例校設置による研究を学校単位で行い好事例となれば他校へ展開せよ。

答弁 各学校での体力向上の取組の好事例を積極的に普及啓発する。

新型コロナウイルス診療の周知

質問 コロナ感染者に向け区は医療機関と連携し、検査キットの手配や薬の処方ができるオンライン診療を開始したが、受診希望者には、今後どう周知していくのか。

答弁 医療機関を通じて周知し多くの人が活用できるように取り組む。

区民モニター導入による実証実験

質問 官民連携のシェアサイクル実証実験に関しては、事業収益だけでなく利用者の声にも耳を傾けるべきだ。料金などのニーズ把握に向け区民モニター調査を行え。

答弁 他の実施事例の結果やその効果を確認しながら検討していく。



桃野 芳文
(下 行 革)



いじめ加害者への出席停止命令

質問 学校での出席停止はいじめ被害者を守るため加害者に命じる強力な手段だが、具体的手順や加害者の教育機会確保に係る規定がなく実行しにくい。直ちに定めよ。

答弁 専門家や学校現場の意見も聞き、具体的な手順を定める。

ラッシュガード着用の届出

質問 水泳授業の際のラッシュガード着用は熱中症対策や日焼け予防に有効だが、いまだに着用には事前の届出を要する学校があると聞く。教育委員会の見解を示せ。

答弁 届出制である小学校24校と中学校15校に不要な届を周知する。

若者に対する公平な支援

質問 区はフェアスタート事業の拡充策を示したが、対象が児童養護施設退所者や社会的養護経験者に限定されている。経済的理由で苦しむ若者も加え公平に支援せよ。

答弁 困難を抱える若者への支援策の課題として受け止め推進する。



ひえしま 進
(下 行 革)



防災力強化に向けた専門職の配置

質問 予期せぬ災害から区民を守るため、緊急時に備えた組織体制の強化を図るべきだ。近隣の区に倣い、危機管理監や防災監などの常勤の専門職員を早急に配置せよ。

答弁 組織体制の強化に向け、危機管理監設置への検討を進める。

猫の不妊去勢手術費用の拡充

質問 人と動物との共生社会を目指す区として、飼い主のいない猫を増やさない取組を一層進めるべきだ。現在の不妊去勢手術費用の一部助成を全額助成に改めよ。

答弁 獣医師会などと議論し、使いやすい制度になるよう検討する。

国葬への区長の見解

質問 区長は安倍元首相の国葬に関して半旗の掲揚や黙祷は行わないと表明した。賛否両論あるが、長年国民のために尽力してきた方へ哀悼の意を示すべきではないか。

答弁 区として特段の対応は行わず、静かに見守ることとしたい。

インターネット議会中継をご利用ください

本会議と予算・決算特別委員会の模様を区議会ホームページで、ライブ配信しています。ライブ映像は、会議終了後、当日のうちに録画映像としてご覧いただけます。議員ごとに編集した映像は、会議のあった日からおおむね1週間後に配信します。インターネット議会中継は、パソコンだけではなく、スマートフォンでもご利用いただけますので、臨場感あふれる映像をぜひご覧ください。



世田谷区議会 議会中継 で検索！

こちらの二次元コードからもアクセスいただけます！



3年度決算を審査するため、45名の議員で構成する決算特別委員会を設置し、10月4日から10月18日の間、延べ7日間にわたり質疑を行いました。
ここでは、決算特別委員会での質疑や要望、今定例会最終日に表明された令和3年度決算に対する各会派等の意見の一部を要約してお伝えします。

本会議での意見表明者

自由民主党世田谷区議団…おぎのけんじ
公明党世田谷区議団…津上 仁志
世田谷立憲民主党区議団…いそだ久美子
無所属・
世田谷行革110番・維新…大庭 正明
日本共産党世田谷区議団…中里 光夫
生活者ネットワーク
世田谷区議団…高岡じゅん子
新風・せたがやの風…小泉たま子
減税せたがや…あべ 力也
レインボー世田谷…上川 あや
世田谷無所属…ひうち優子
Seitabaruあらた…佐藤 美樹
都民ファーストの会…そのべせいや
国際都市せたがや…神尾 りさ
区民を守る会…くりはら博之
無所属…青空こうじ

希望あふれる世田谷を築くため
将来を見据えて区政を運営せよ

自由民主党世田谷区議団―

(全ての会計に賛成する意見)



令和3年度は、8度に及び補正予算を編成し、コロナ蔓延防止策、各種緊急経済対策、東京2020大会などに全庁を挙げ対応したことを評価する。しかし、新実施計画における事業の未達成率は、ここ数年の悪化傾向に歯止めがかからず66%にまでなったことは看過できない事態だ。4年度、5年度の実施計画においては確実に事業の達成率を向上するため、区長、特別職、幹部職員は、予算を浪費するだけで全く成果を出していない現状を真摯に受け止め、最小の経費で最大の効果を上げられるようマネジメント力を最大限に発揮せよ。

今定例会において、賛成27、反対20という薄氷で可決となった地域行政推進条例について、我が会派は、条例を制定しても区民が望

む行政サービスへの改善や改革は何ら実現されず、かえって区民に失望を生むだけであると判断し反対した。また、地域行政推進計画も曖昧な目標や方針が並ぶばかりだ。加えて区長の言う区民に時間を返すための具体策も何ら示されておらず、行政の本気度が全く感じられない。区民が最も望むことは身近な窓口での行政サービスの強化であり、区は28箇所のまちづくりセンターで多くの行政手続や相談ができる体制、更には自宅からオンラインで様々な手続ができる仕組みの構築など区民目線に立った具体策を早急に講じよ。そして何より懸念しているのは、我が会派の再三の指摘にもかかわらず曖昧な定義のまま条文に記された「住民自治」という言葉である。行き過ぎた住民自治が地域に分断を生む可能性があることから、我々は明確な定義を定めよと求めてきた。また、条例案へのパブリックコメントには、目指すべき住民自治の姿として議会制民主主義を否定するかのような意見まで寄せられており、不安は増すばかりだ。住民自治の根幹は、区民の負託を受けた議会と区との対話であるとともに、区政運営の責任主体は執行機関たる行政であるとの基本に十分留意せよ。

次に子育て支援について意見を述べる。区は子ども・子育て応援都市を標榜しているが合計特殊出生率が都の平均を10年以上も下回っている。区が9月に示した計画案からは少子化への危機感が見てとれ、国でも新たな子育て施策の早期展開に向け現在検討中だ。以上を踏まえれば、区が今一番優先すべき施策は出産一時金や子育て利用券の拡充など出産育児支援であることは明らかだ。今定例会で給食費無償化の議論が多く交わされたが、区では既に23区で最高水準の助成を行っている現状や無償化には20億円もの追加財源を要することなどを区長は肝に銘じ、無

償化の実施可否を冷静に判断せよ。次にふるさと納税対策についてである。4年度のふるさと納税の流出額は87億円超を見込んでおり、5年前から2.8倍もの大幅減収となっている。ふるさと納税業界の競争は激化しており中途半端な対策や行政の優等生的発想ではまず勝てない。今後は議会や民間からの提案を全て実行に移す覚悟で競争に臨め。また、区長は単に減収を抑制せよと言っのではなく、寄附額をいくらか増やせと具体的な指示を徹底し早期に減収を食い止めよ。

目下のコロナ禍や物価高騰は今後も続くことが予想され、区民生活を守るためには、機を見るに敏な補正予算編成が求められる。また、5年度に向けては、3年度の特別区民税が約140億円の高税収であったことに気を緩めず、今まで以上に実効的な行財政改革を断行し区政を前進させる必要がある。将来の世田谷を大局的に見据え、全ての区民が希望を持てる予算が編成されるよう強く要望する。

不断の決意で行財政改革を進め
区民の生活と暮らしを守り抜け

公明党世田谷区議団―

(全ての会計に賛成する意見)



3年度は、ふるさと納税による減収が一層拡大しており、新実施計画事業においては目標達成率が3割程度にとどまるなど現在の区政は深刻な状況にある。今こそ新型コロナや物価高騰などの難局に立ち向かうため、新公会計制度を活用した行財政改革を不断の決意で進め、現状を見極めた機動的な対策を講じるとともに経済に新たな活力を生み出す施策を打ち出せ。

以下、我が党が最重要課題と考える施策について意見を述べる。
第1に、物価高騰が続く中、所得制限を撤廃した給食費完全無償化を5年度から実施せよ。また、新BOPの時間延長や児童館の夜

間休日の活用が子どもの健全育成に資する事業となるようノウハウが豊富な民間への委託を検討せよ。
第2に、コロナ禍や物価高騰に係る支援が手薄になっている中間所得層、単身や夫婦のみの世帯に対し、国の地方創生臨時交付金を活用した区独自支援を実施せよ。また、せたがやペイを活用した区内事業者支援に引き続き注力せよ。

第3に、実効的な行財政改革の一環として、区直営と民間活用との基準を明確化し、職員の定数や配置を適正に管理する計画を策定せよ。また、「稼ぐ公共」の視点で公有財産の有効活用を推進するとともに、全事業評価を常時客観的に行う専門部署を創設せよ。

第4に、北朝鮮によるミサイルの脅威や激甚化する自然災害から区民の命を守るため、公共施設のシエルター化を推進せよ。また、在宅避難の推進に向け、住まいの実情に合った災害対応型住宅整備助成制度の創設や集合住宅に対する支援策の拡充に一層取り組め。

第5に、健康寿命の延伸に向け、介護サービスを利用しない高齢者がより一層健康維持に努められるよう、区独自のキャッシュバック制度を導入せよ。また、特養ホームなどが設置する地域交流スペースを有効活用し、高齢者が健康維持に取り組める場を確保せよ。

第6に、デジタル化に伴う情報格差を解消するにはマイナビポイント第2弾やせたがやペイのポイント還元キャンペーンなど旬なタイミングを生かした区民向け操作教室を行うことが肝要だ。身近なまちづくりセンターに丁寧かつ区民に寄り添える相談窓口を設置せよ。

社会状況を的確かつ迅速に把握し
区民が望むサービスを実現せよ

世田谷立憲民主党区議団―

(全ての会計に賛成する意見)



所得制限のない給食費無償化の実現など公平な子育て支援を進めよ。環境施策推進に際し太陽光パネルの大量廃棄に備え対応せよ。障害者の人権救済の制度構築と地域移行支援に注力せよ。地域と共に男女共同参画を推進せよ。世田谷の価値を高める施策を展開せよ。

次期基本計画は社会状況を踏まえた柔軟な計画とせよ。公契約条例の労働報酬下限額を引き上げよ。せたがやペイが地元根付く電子決済となるよう工夫を凝らせ。高齢者が自身の能力を発揮できる機会を創出せよ。労働者の権利保護と労働環境の改善に取り組め。

コロナ対策では在宅要介護高齢者の受入体制整備事業の利便性向上を図るとともに後遺症調査や感染者の登録手法を改善せよ。新BOPの時間延長は適切に区民ニーズを把握し質の高い施策とせよ。誰もが快適に移動できる地域公共交通政策を展開せよ。道路予定地などの区有地を区民開放し、地域コミュニティの活性化を図れ。

不登校特別校教室の取組を区全体の教育改革に生かせ。インクルーシブ教育の推進に向けたガイドラインは当事者などの参画の下で策定せよ。都立高入試での英語スピーキングテスト導入は時期尚早だ。個人情報保護の徹底とともに障害や不登校生徒に配慮した対策を講じよ。学校での集金方法は現金から振込に改めよ。給食の配送トラックの荷下ろしによる交通トラブルを調査し対策を講じよ。

女性がキャリア形成しやすい社会を築け。苦情処理委員会是人権救済機関だと分かる名称に変えよ。学校主事業務は民間に委託する。区の予算は、区民に役立つサー

ビスを還元してこそ意味をなすものだ。ニーズや時代の潮流に合わない施策が見られる現状を踏まえ民意を的確かつ迅速に把握せよ。DX推進により利便性の高い行政手続の仕組みを構築する一方で職員が適宜現場に足を運び、区民と地域課題を解決するメリハリのある区政運営を展開せよ。

「看板倒れ」の政策ではなく
現実的な施策を着実に展開せよ

無所属 世田谷行革110番 維新―

(一般会計には反対、その他の会計には賛成する意見)



区の重要課題への取組を示す新実施計画が達成率4割にも満たず終了したことについて、「申し訳ない」の一言で済ます区長の無責任さには返す言葉も見当たらない。世界規模の戦争や気候変動による災害への不安が高まる今、区に求められることはできもしない「看板倒れ」な政策ではなく、未来を担う子どもへの支援であり、学校給食費無償化こそ早急に実現すべき現実的施策と我が会派は考える。

DXについて区長は民間出身の副区長がいれば事が進むとの甘い考えだが、リーダーたる区長に明確な方向性もないままでは失敗に終わることは明白だ。DX推進には人事制度の改革こそ肝要であり、終身雇用や年功序列を見直し、ベテラン世代と若い世代双方の力を引き出しながら行政効果を最大限発揮できる組織の構築を目指せ。

最後に倫理観を欠く区長へ苦言を呈する。世田谷ナンバー導入時に区が実施したアンケートが裁判で不適切とされたにもかかわらず、違法でないため問題ないとするのは自治体の長にあるまじき姿勢だ。区長は自身の態度が区政への不信感を招くことを自覚し猛省せよ。



令和3年度決算に対する会派等

参加と協働貫き信頼される区政を
ー日本共産党世田谷区議団ー

（国保会計と後期高齢者会計には反対・一般会計と介護会計と給食会計には賛成する意見）



保坂区政は今期、コロナなど非常事態から区民の命と健康を守る積極的な取り組みをした。一方、行政経営改革では、ふじみ荘廃止区立図書館への指定管理者拡大、区立保育園統廃合計画策定など住民に十分な周知・説明・合意のないうまま進められている。参加と協働貫き、区民に信頼される行政経営改革に徹することを求める。

コロナと物価高騰から区民の命と暮らしを守れ。第8波に備え保健所体制や検査の拡充、オンライン診療の継続を。物価高騰に苦しむ困窮層に区独自の支援を。保育の質を守りながらの待機児解消など子育て支援を。隠れ待機児、詰込み保育の解消を。区立保育園統廃合見直し。学校給食の完全無償化を行え。介護人材確保の総合的対策を。補聴器購入助成実施を。地域行政推進で住民自治の充実を。

命と暮らしを守る区政を運営せよ

ー生活者ネットワーク世田谷区議団ー

（全ての会計に賛成する意見）



第8波に備え区民にオンライン診療の仕組みを周知せよ。学校給食費を完全無償化するとともに安全な食材を使用せよ。生活困窮者への支援を充実せよ。ハラスメント防止やジェンダー平等の取組を一層進めよ。リプロダクティブ・ヘルス/ライツに係る性教育を推進せよ。ごみ処理コスト削減への意識啓発を行え。区施設のZEB化を進めCO2排出量削減に注力せよ。区有地を農地化し有機農業への理解を高める場とせよ。香害の危険性を周知せよ。コロナ禍で経営難の介護事業者への支援を強化せよ。介護給付に係る基金や第三者評価を活用し介護サービスの質を高めよ。交通不便地域解消に努めよ。

インクルーシブな地域づくりを進めよ。住民同士の顔が見える関係性を築き、地域行政推進条例を住民自治の推進へとつなげよ。

責任から逃れず全力で区政に臨め

ー新風・せたがやの風ー

（全ての会計に賛成する意見）



地域行政推進条例からは区の主体性や在るべき姿が見えない。条例で用いる「包括的」の意味を限定的に解釈せず今一度確認し、区全体での意識改革を行え。参加と協働は区と区民や事業者の立場を明確化せよ。適正な手続を踏み根拠に基づき政策を立案せよ。区政の最重要課題は窓口混雑を解消し、区民に時間を返すことだ。責任者を先頭にスピード感を持って全力で取り組み。学校給食費完全無償化は、課題を多角的に捉え幅広く議論し区民が理解納得できるように、区はしっかりと説明責任を果たせ。

賃上げや減税策を求め福祉向上

ー減税せたがやー

（全ての会計に賛成する意見）



物価高騰が進む中、政府の対策は住民税非課税世帯への限定的支援に留まり、多くの区民は苦境に立たされている。生産性の向上と賃上げの具体策・消費を喚起する減税策の実施を求めたい。区はこうした現状を踏まえ、区民福祉向上のため賢い区政運営に進進せよ。

区民の多様性に留意し施策点検を

ーレインボー世田谷ー

（全ての会計に賛成する意見）



常に区民福祉向上の視点に立ち、各施策では潜在的なニーズをも捉え施策推進せよ。多様性を尊重し差別を禁ずる区は外郭団体における同性力アップへの不平等な制度撤廃に向けても改善努力を怠るな。優れた行政方針も絵に描いた餅に意味はない。評価・点検の励行を。

時代のニーズに合う施策を講じよ

ー世田谷無所属ー

（全ての会計に賛成する意見）



DX推進による電子申請窓口を整備するとともに情報格差対策を強化せよ。自転車の安全対策強化と官民連携によるシェアサイクル事業を展開せよ。図書館やスポーツ施設を充実せよ。公園の防犯カメラを増設せよ。仕事をしながら介護を行う方への支援を強化せよ。

幅広い視点で少子化対策を講じよ

ーSetagayaQ1たー

（全ての会計に賛成する意見）



出産や子育てに関連する民間の商品・サービスが拡充する今、区も待機児解消に次ぐ少子化対策を強化せよ。極めて低い区の出生率に鑑み第2子から出産費を助成せよ。適切な財源配分に向け財政を見える化し、様々な傾向分析に活用できる予算決算データをつくれ。

子どもの未来を守る社会を築け

ー都民ファーストの会ー

（全ての会計に賛成する意見）



区民の行動制限の上に成り立った一年だったが、特に子どもや若者の貴重な時間をこれ以上犠牲にせず過度な制限は撤廃しオンラインも含め機会を拡充せよ。物価高騰が続くが安易なバラマキの前に効率化・スリム化を進め、課題は先送りせず現役世代で解決せよ。

区の将来を見据え果敢に挑戦せよ

ー国際都市せたがやー

（全ての会計に賛成する意見）



先行きの見えない今だからこそ、機動的で柔軟な庁内体制を構築し社会状況に合わせた重要施策に十分な予算を投じる区政を展開せよ。ウォーカブルなまちづくりは持続可能な世田谷の構築につながる。

産官学民でまちの将来像を共有しながら具体的な取組を推進せよ。

区民を守る対策に全力を尽くせ

ー区民を守る会ー

（全ての会計に賛成する意見）



ふるさと納税による減収の影響を区民に周知するとともに国に抜本的な見直しを求めよ。地域交流アプリの活用を町会や自治会に促せ。社会変化に対応した障害者就労支援を展開せよ。緑化推進の目標は現実的なものとせよ。学校でのマスク着用方法を柔軟に見直し。

安心安全なまちづくりを推進せよ

ー無所属ー

（全ての会計に賛成する意見）



平和を守る取組を進めよ。地域の安全安心を守るため再犯防止の推進に力を注げ。保護司や民生委員、消防団員などの担い手の確保に努めよ。障害理解の促進に係る条例制定を機に、バリアフリー化に取り組み商店への助成事業を再開するなど障害施策を一層進めよ。

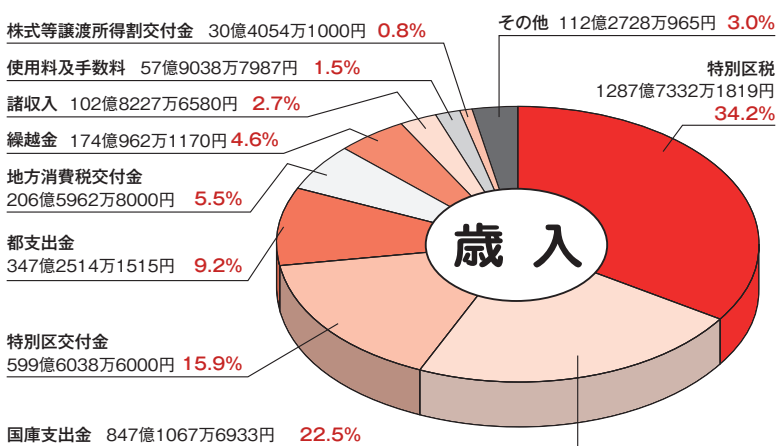


決算特別委員会での採決の様子

令和3年度各会計決算額

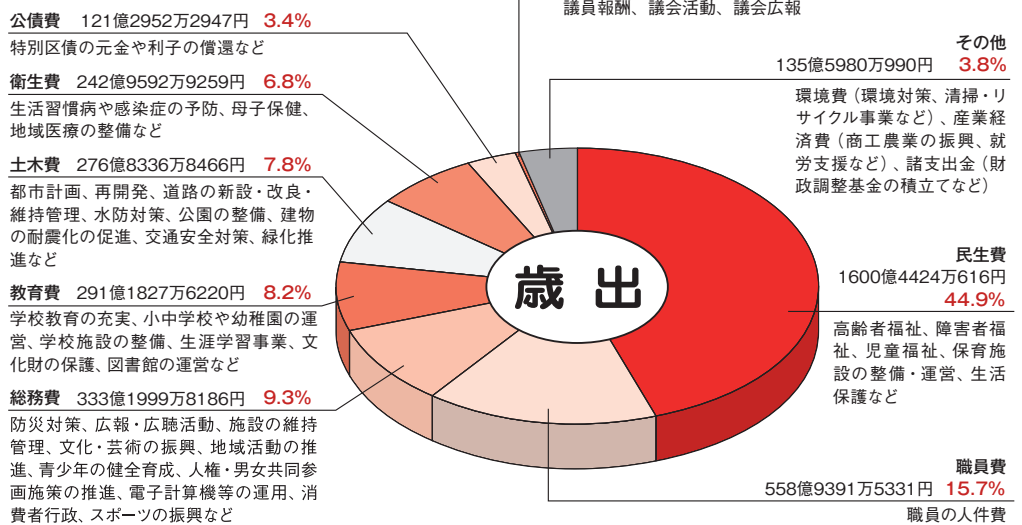
	歳入決算額	対前年度比伸び率	歳出決算額	対前年度比伸び率	歳入歳出差引額
一般会計	3765億7926万1969円	-12.1%	3567億6186万9676円	-13.2%	198億1739万2293円
特別会計					
国民健康保険事業会計	826億9165万5847円	3.6%	815億2366万6186円	3.6%	11億6798万9661円
後期高齢者医療会計	220億3310万9985円	0.2%	213億8678万7246円	0.4%	6億4632万2739円
介護保険事業会計	713億519万5207円	-0.2%	682億8108万5180円	-1.1%	30億2411万27円
学校給食費会計	28億3782万9534円	21.2%	27億7227万511円	20.6%	6555万9023円
計	5554億4705万2542円	-8.1%	5307億2567万8799円	-8.9%	247億2137万3743円

一般会計決算の内訳（％＝構成比）



※構成比（％）は小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならないものがあります。

令和3年度決算のあらまし



第4回定例会は11月28日から12月7日まで開催する予定です

（↑ページからの続き）

○障害者福祉施設条例
（全員賛成）

鳥山福祉作業所が実施する障害
福祉サービスに生活介護を追加
する。

○学童クラブ条例

（全員賛成）

新BOP学童クラブ事業の延長
利用に日ぎめ利用制を導入する
ことなど。

○子ども医療費助成条例

（全員賛成）

医療費助成の対象を高校生相当
世代まで拡大することなど。

○街づくり条例

（全員賛成）

建築基準法の改正に伴い、必要
な規定を整備する。

●工事請負契約の締結

1件

○鋼管杭設置工事（補助第216号線）

【大蔵三丁目3番から大蔵五丁
目10番先】

（全員賛成）

工事名 相手方・契約金額

設置 福田・日鋪
建設共同企業体

一億九六五三万二二八円

工期 6年6月18日

●財産の取得 1件
○事務用パーソナルコンピュータ

（全員賛成）

相手方 ㈱Dynabook株式
会社東日本支社

設置施設 Ⅱ役所本庁舎外40箇所

購入機器 Ⅱモバイルノート型パ

ソナルコンピュータ 2500台

金額 Ⅱ二億九三〇一万八〇〇円

●指定管理者の指定 3件

○スカイキャロット展望ロビー

（全員賛成）

施設名称 指定管理者

スカイキャロット
展望ロビー

株式会社ホテル
オークラエンタ
ープライズ

○区民会館

（全員賛成）

施設名称 指定管理者

北沢区民会館

株式会社世田谷
サービス公社

○健康増進・交流施設

（全員賛成）

施設名称 指定管理者

健康増進・交流
施設

株式会社
オーエンス

●人権擁護委員候補者推薦の諮問 1件
（全員賛成）

吉本一哉氏を候補者として法務
大臣あてに推薦することを可と
する。

●議員提出議案 4件

○区議会委員会条例

（全員賛成）

○区議の報酬・費用弁償条例

（全員賛成）

○区議会会議規則

（全員賛成）

―以上3件は、オンラインでの参
加を認める委員会の開会に必要
な規定を整備する。

○刑法の性犯罪規定の見直しに関
する意見書

（全員賛成）

―意見書の内容は以下のとおり―

●決算特別委員会の設置と委員の
選任

（全員賛成）

3年度決算を審査するため、決
算特別委員会を設置し、45名の
議員を委員として選任する。

請願

皆さんから出された請願・陳情
の審議結果などをお知らせします。

●審議が終わったもの

○通学路以外の新BOP利用およ
び学区の異なる児童同士の交流
機会の充実を求める陳情

（全員賛成）

●新しく出されたもの

◆企画総務常任委員会に付託 3件

○「国葬」に関する意見書を国に
提出することを求める陳情

○旧「統一教会」問題解決のため
の検討開始を求める陳情

○固定資産税及び都市計画税の軽
減措置の継続について意見書等
の提出に関する請願

◆区民生活常任委員会に付託 5件

○奥沢センタービル三敬ビル耐震
工事を円滑に進めるにあたって
同ビル理事長世田谷区は集金以
前にまず法を遵守することを求
める陳情

○ビル劣化で改修が逼迫する築52
年の奥沢センター／三敬ビル保

意見書

区議会は、次の意見書を関係機
関あてに提出しました。

刑法の性犯罪規定の見直しに関す
る意見書

性犯罪は、被害者の人格や尊厳
を著しく侵害し、その後の人生に
大きな禍根を残す重大な犯罪です。

2017年6月刑法改正により、110年
ぶりに性犯罪に関する規定の見直
しが行われ、強姦罪を強制性交罪
等として定義を広げ、法刑の下限
を引き上げるなどの前進をみまし
た。しかし、事前の検討会の議論
は9項目にわたりましたが、改正
時には、公訴時効や性交同意年齢、
暴行脅迫要件、地位関係性の4項
目は改正が見送られました。また、
その後2019年には、被害者の同意の
ない性行為であると認定されなが
らも、無罪判決が相次ぐなど、改
正後の規定でもなお十分である
ことが指摘されています。

法務省では2020年6月から、「性犯
罪に関する刑事法検討会」が開催
され、その報告書に基づき法制審
議会の場で刑法の性犯罪規定の見
直しに向けた議論が行われていま
した。

検討会の報告書を踏まえ、法制
審議会でも議論されている刑法を性
被害の実態に即したものに改正し、
関連法整備や性被害者支援施策の
強化を早急に行うことが必要です。
よって世田谷区議会は、国会及

び政府に対し、改めて声を上げら
れない被害者の実態や視点に立つ
た刑法の性犯罪に関する規定を見
直すことを求め、次の事項を実現
するよう強く要望します。

記

1 公訴時効の完成を遅らせるこ
と。

2 性交同意年齢を引き上げるこ
と。

3 暴行・脅迫や心神喪失、抗拒
不能の要件を見直し、同意の
ない強制性交を処罰するため
の不同意性交罪の創設など、
被害者に寄り添った改正を行
うこと。

4 対等ではない関係性を利用し
た性犯罪規定を創設すること。

以上、地方自治法第99条の規定
により意見書を提出します。

令和4年10月21日

衆議院議長、参議院議長、内閣総
理大臣、法務大臣 あて



正副委員長の互選結果

○決算特別委員会

委員長 三好 三郎（自民）

副委員長 津上 仁志（公明）

副委員長 いそだ 久美子（立憲）

○お問い合わせやお気づきの点が
ありましたら、区議会事務局調
査係までお寄せください。

TEL (5432) 2779

FAX (5432) 3030

本紙に掲載された質問、答弁など
の詳しい内容については、会議録
（本会議の分は11月下旬、決算特
別委員会の分は12月下旬の発行予
定）をご覧ください。なお、会議
録は、区立図書館、区政情報セン
ター、総合支所、出張所、まちづ
くりセンターなどに備えてありま
す。また、ホームページでもご覧
いただけます。

